

フォトニュース

地元出身プロ選手凱旋

8月5日（月）

境港市出身のプロビーチバレー選手である、庄司憲^{けん}右^{すけ}さん（左）と松本大翼^{だいすけ}さん（右）が市長を訪問し、プロとしての今後の目標や、オリンピックへ夢などを語りました。庄司さんと松本さんは渡地区の出身で、この春からプロとしてコンビを組んで活動しています。8月3、4日のSun-in ビーチバレー大会に出場され、応援する多くの観客を魅了しました。



東北の今を確かめに～研修と交流～

8月7日（水）～10日（土）

東日本大震災から2年5カ月余りが過ぎた現地の今と人々の思いを受け止めるため、市内の中学生9人が宮城県石巻市を中心に現地研修を行いました。

石巻市では、市立住吉中学校を訪問し、震災被害の様子を学ぶとともに、一日も早い復興を願いました。

また、生徒会の役員と一緒に同じ市の木である「クロマツ」を植樹し、交流を深めました。

JR境港駅前にホテル進出！

8月12日（月）

JR境港駅前市有地へのホテル立地が決まり、境港市と関係企業の間でホテル事業協定書調印式が境港市役所で行われました。ホテルの名称は「ラビスタ境港」となる予定で、平成26年1月に着工、平成27年5月から開業する計画です。

水木しげるロードが通過型から滞在型の観光地へと変わり、地域経済の活性化をもたらすと期待されます。



放射線からまもる

8月18日（日）

「放射線からまもる－被ばくと健康リスクを考える」をテーマに、大分県立看護科学大学の甲斐倫明^{みちあき}教授を迎え、原子力防災講演会が文化ホールで行われました。講演に先立ち、鳥取県原子力安全対策課から、原子力防災への取り組み状況の説明もあり、来場した約180人は、原子力防災対策と放射線の健康への影響について理解を深めました。